

日本セーリング連盟 外洋加盟団体 責任者各位

平成 21 年 7 月 10 日

CC 外洋系特別加盟団体 責任者各位

08 外洋統括委員会メンバー各位

外洋組織再編成とその経緯について

財団法人日本セーリング連盟

常務理事 児玉 萬平

セーリングシーズン真っ盛りの中、貴団体におかれてレースや各種イベントにお忙しい日々と拝察いたします。

さて過日（6月21日）、日本セーリング連盟（以下 JSAF）評議員会に於きまして本年度の組織・予算の承認をいただきました。今年度は新たに外洋艇出身の副会長、西岡一正氏（タキオン・オーナー）、植松眞氏（エスメラルダ・オーナー）の両氏を迎え、JSAF 外洋組織も今までとは異なる組織運営を目指すことになりました。つきましてはその組織概要を説明させていただき、あわせて新設組織の背景と今後の運営についても言及させていただきたく存じます。

JSAF における外洋艇推進グループの新設

JSAF 全体の機能を 4 つのグループにまとめ、総務・広報グループ、競技推進グループ、普及・強化推進グループそして外洋艇推進グループの 4 つの柱を作った、今まで外洋艇は（外洋統括）委員会であったが、今年度から 4 つのグループのうちの一本の柱として一段上の組織に位置付け、より自立的な活動ができる体制とした。



外洋艇組織再編のポイント

- ・ 外洋レース委員会・外洋ルール委員会は競技推進グループのそれぞれレース委員会・ルール委員会に参加し、同じ土俵で活動いただくこととし、それぞれの委員会には外洋メンバーから副委員長を選任することとした。
- ・ 外洋計測委員会、安全委員会はともに外洋艇固有の課題を担当することから、それまでの委員会を束ねた形で再編した。外洋計測委員会は IRC 委員会、ORC 委員会、技術委員会を包含し、安全委員会は SR 委員会、通信委員会を包含している。
- ・ 新たに外洋総務委員会を設立、外洋組織の方向付け、課題の検討、外洋関連財務、外洋諸問題の窓口業務全般に対応することとした。詳細は後段に記述。

(外洋艇推進グループ)		
	担当副会長	植松眞
	担当常務理事	児玉萬平
	担当理事	豊伸吾(北日本) 外山昌一(関東) 坂谷定生(駿河東海)
外洋総務委員会	委員長	鈴木保夫
法制委員会		渡辺康夫
外洋計測委員会		林賢之輔
技術委員会		同兼務
IRC 委員会		東山和幸
ORC 委員会		外山昌一
外洋安全委員会		未定(浪川宏氏 監事就任のため後任選出中)
SR 委員会		同上
通信委員会		足立利男

外洋総務委員会の役割

外洋総務委員会は植松副会長の言われる「JSAFの一義的存在意義はレース活動の推進である」を受けて以下の役割を担うこととした。

- ・ **ステアリングコミッティー**：外洋艇・外洋レースを取り巻く様々な課題の分析と方向性の検討を行い、関係団体と連携して問題解決に当たること
- ・ **外洋艇登録業務**
- ・ **外洋財務**：推進グループ財務全般を扱うこと
- ・ **法制委員会**：外洋艇固有の国土交通省や小型船舶検査機構などへの提言や調整活動
- ・ **レース推進業務**：本部レース調整・支援、海外レース調整・支援、本部委員会（レース・ルール）連携業務

特に、ステアリングコミッティーでは懸案の重要課題についての方針・方策を示すべく早急に行動

を起こすこととしたい。すなわち

- ・ 艇登録制度の見直し

現在の JSAF 登録艇数は 800 余艇、レースやクルージングに活動する数千の艇に艇登録を促すにはどのようなコンセプトと方策で進むべきかの検討

- ・ 加盟団体・特別加盟団体の関係のあり方と整理

合併時のコンセプトであるクラブ単位での活動推進活動の分析と加盟団体および特別加盟団体の今後の関係、県連と外洋加盟団体の関係のあり方を総合的に検証し、その結果を踏まえた方向性の提示

- ・ 外洋艇推進グループの財政基盤の強化

今まで、JSAF における外洋艇関連予算は、艇登録収入と計測収入のみであり、独自の活動予算は限られていた。外洋艇推進グループの方針に沿った独自の活動や複数年度にわたる長期プロジェクトなどに対応するための財政基盤の確立を目指す。

などがある。

委員は関東水域全般から、一線で活動する艇のオーナーの中から委員長指名で集まっていただき、植松副会長の指導の下、従来とは異なるアプローチを模索することとした。

今後の会議体、スケジュール

理事・加盟団体責任者・委員長全体会議：年 2 回開催 9 月・2 月（予定）

理事・委員長会議：理事会開催日に順ずる

総務委員会：二ヶ月に一回、計 6 回開催、テーマごとに分科会開催。

（全ての会議は原則としてオープン参加可能とする）

告知

各会議議事録は JSAF ウェブサイトに掲載する。

以上、ご説明申し上げます。

関係各位におかれては、今回の組織と活動に向けご協力をいただきたくお願い申し上げますとともに、忌憚の無いご意見をお寄せいただけるよう重ねてお願い申し上げます。